

# 彼方「かなた」

校長通信  
H30.7.19  
Vol.15

【震災体験キャンプを実現させたい！】

創立四十周年を迎え、

新たな取り組みとして、

「白山おやじの会」を発

足させました。趣旨にご

賛同いただいた十三名の

「おやじ」の皆さんを発

起人とし、六月二十三日

(土)に第一回目の発足

会を開催し、次のような

会に対する願いや趣旨をお話しさせていただきました。

『会の趣旨・願い』

○ 普段仕事等で忙しく、学校にもなかなか足を運

べず、「中学校で我が子や他の生徒がどんな学校生

活を送っているのかよくわからない」という声が

少なくありません。そこで、少しでも学校教育や

学校現場に触れ、関心を高めて欲しいと考え、「お

やじの会」を発足したいと考えました。

○ 地域には自治会や町内会、まちづくり協議会等、

地域の拠点となるコミュニティが沢山あります。

学校の中にも、PTAや部活の保護者会、図書ポ

ランティア等がありますが、地域のそれとは、多

少意味合いが違っているように思います。そこで、

学校を核とした地域コミュニティとして「おや

じの会」を発足し、白山中の保護者だけでなく、

学区の小学校の「おやじ」、地域の「おやじ」、保



護者OB、教職員OB等々、いろいろな立場の「おやじ」が参加できる会にしたいのです。

○ さまざまな活動を通して、我が子の父親から白

山中区の「地域のおやじ」として多くの小・中学

生に関われるような存在にしていきたいのです。

というようなお話をさせていただき、会則や縛りの

少ない自発的な「ゆるい会」をめざして立ち上げ

ました。その後、全校の保護者の皆さんに会員を募

ったところ三十名余の皆さん(現在集約中)に手を

上げていただきました。発起人の皆さんを加えると

五十名を超える「白山おやじの会」の会員が組織で

きそうです。

次に事業内容ですが、現実的なことを考えると、

「避難所開設訓練」を組み込むのが、より意義のあ

ることだと考えています。実際に東日本大震災以降、

避難所開設やその運営についていろいろな問題が出

されています。今も西日本豪雨による避難所の運営

がニュースで取り上げられています。冷房、水、居

住スペース、プライバシー等の問題が取り上げられ

ています。でも、今起きていることは、間違いなく

近い将来、私たちの身の回りに起こり得ることなの

です。もし災害が起きて、本当に白山中が避難所と

なれば、市行政や自治会等と一緒に避難所を開設し、

運営することになるのですが、その中心的な立場で、

動くのが「おやじ」の年代なのです。「おやじの会」

で親睦が図られていて、横の関係ができていますとス

ムーズに避難所の開設や運営ができます。その結果、

学校の復興にも力を入れられるようになり、生徒が

学校に戻るのが早くなります。そういう意味でも事

業の中に入れておきたいのが「避難所開設訓練」な

のです。

これらの意を受けていただき、七月八日(土)に

は、第二回「白山おやじの会」打ち合わせ会議をけ

やきプラザ8階会議室で開催しました。事業内容に

ついては、昨年度第一小で行った「震災体験キャン

プ」を参考にし、中学生が主体的に関われるように

しながら、九月二十二日(土)～九月二十三日(日)

に白山中を会場に「震災体験キャンプ」を開催する

こととなりました。詳細は、八月二十八日(火)に

第三回打ち合わせ会を実施し、当日の参加者及び役

割分担等話し合っていたいと思っています。

「震災体験キャンプ」の日程・内容(案)は次の

通りです。

(一日目)

14:00 受付(白山中学校体育館) 参加費500円

14:30 DIG(災害図上訓練) & 研修

17:00 炊き出し(カレーづくり)

18:30 夕食・片付け

20:00 星観の会

21:00 校舎内探索・物資確認

22:30 就寝準備・就寝

(二日目)

6:00 起床・ラジオ体操

7:00 炊き出し(非常食)

8:30 振り返り・記念撮影

9:00 解散

今後、実施計画を詰めて、会員、小中学校への参

加確認等を行っていきます！ 振るってご参加を！